

科目名		一級建築計画			
担当教員		佐藤 静		実務授業の有無	有
対象学科		一級建築士専攻科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	演習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築計画は、一般的に「計画各論」。 計画各論は、人間工学的観点からの建築物各部の計画上の留意点及びそれぞれの目的別に計画される建築物についての計画上の諸要素とその具体的検討事項について学ぶ。			
学習目標 (到達目標)		一級建築士学科試験「建築計画」において、16点（20点中）以上の取得を目指す。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		1級建築士講座テキスト（総合資格学院） 1級建築士問題集（総合資格学院）			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	建築士の職責、建築設計の手法等			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
2	居住施設			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
3	学校教育施設			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
4	社会教育施設			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
5	医療施設			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
6	高齢者施設			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
7	商業施設			方法：講義形式としその内容を解説する。 準備学習：教科書の予習と復習	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
定期考査	取組姿勢			一級建築士はあらゆる用途に関する知識が求められる。 住宅以外に公共施設における設計能力を身に付けていくうえでとても重要な科目となる。	
80 %	20 %	90 %	10 %		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		佐藤 静：一級建築士として、住宅設計に10年携わってきた。			